

2012年5月2日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL www.t-s-r.co.jp

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSRビル

代表取締役社長 藤田正雄

TSR - Press Release

自動車向けHead Up Displayの市場分析結果を発表

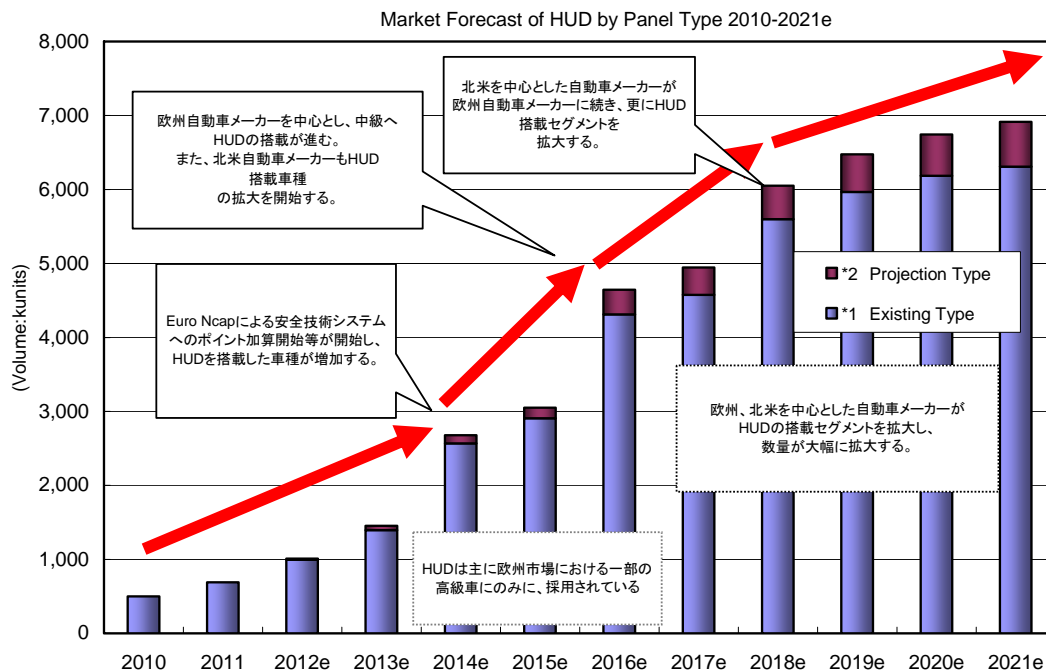
～自動車IT化や安全技術による次世代HUDの登場：

2011年の自動車向けヘッドアップの市場規模は約69万台、2016年までに約465万台へ～

株式会社 テクノ・システム・リサーチは『Head Up Display Market Research 2011-2012』を発刊し、2011年のHead Up Displays (HUD)に関する市場規模を発表致しました。

2011年の自動車に搭載されるHUDの数量規模は前年比約140%成長し、690 k unitsとなり、金額規模では245 Million USDとなった。今後は次世代HUDと位置づけられているEmbedded and Small Projector (超小型プロジェクター)の技術を応用展開した製品開発が進み、2014年頃には市場投入が開始される見込みとなっている。

[ヘッドアップディスプレイ市場：製品タイプ別長期予測 (2010-2021e)]



*1 Existing Type Includes ... LCD/VFD Type

*2 Projection Type Includes ... Scanning MEMS/DLP/LCOS

【ヘッドアップディスプレイ：市場拡大要因と製品仕様要求への変化】

テクノ・システム・リサーチでは、HUD市場の拡大は2014年以降加速するとみている。

これは、欧州を中心に検討されている安全走行システム搭載を促進させる規制や保険優遇処置等を背景に、高級車から大衆車へ安全走行システムの導入が進み、それと共に HUD の搭載率も増加することが要因となる。2018年以降は欧州メーカーに続き、北米メーカーも大衆車へ HUD 搭載を進める可能性が高まっていることから、2021年までに HUD 市場は約 7,000 kunit となり、2012 年の市場規模から約 10 倍へ成長することが期待されている。

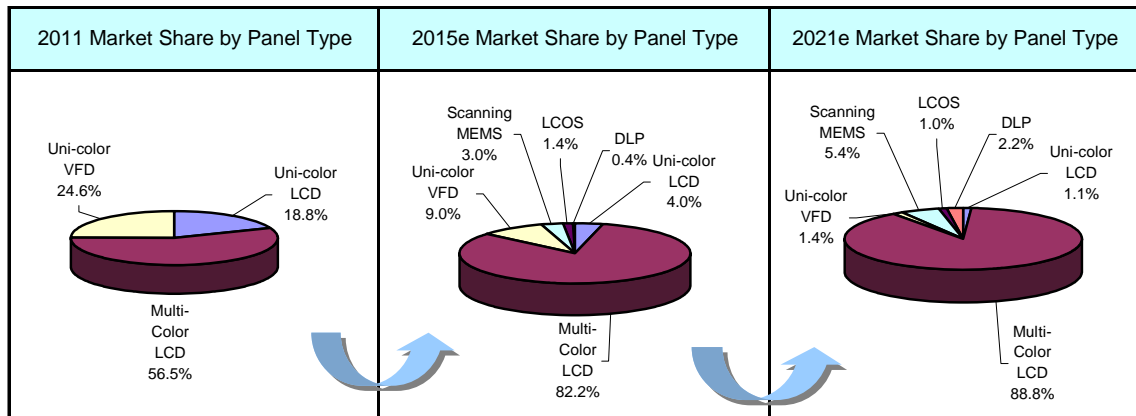
また、本レポートでは市場規模や参入メーカー動向に加えて、次世代HUDへのEmbedded and Small Projector技術応用の可能性、主流となる製品タイプ等に関する調査も行っている。

将来的に自動車の安全性・利便性の向上を図る為、自動車内の情報は安全走行技術やSmartphoneとの連携が主となり、多様化が進むことが予想される。その為、HUDに対する高コントラスト、高輝度、高解像度への要求が高まっている。これらの要求を満たす為に、現在HUDメーカーは、Embedded and Small Projector(超小型プロジェクター)技術の採用を進めている。

また、次世代HUDは高価なレーザーを光源に採用するなど、現行の製品と比較して製品付加価値の高い製品となる見込みとなっていることから、まずは高級車を中心に普及する可能性が高い。

一方、現行のHUDは価格下落が進み、今後は価格要求の高い大衆車向けとして普及する可能性が高くなっていく。

【ヘッドアップディスプレイ市場：搭載製品別の変遷】



※ 詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

【リリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

第2グループ 諸見里 依子 (moromizato@t-s-r.co.jp) 木村 準一 (kimura@t-s-r.co.jp)

Tel: 03-3866-4505